

10  
月号

第464号

# いっしん

令和5年(2023年)

祈るにもお  
礼とお詫びを  
篤くして  
心静かに  
すがれどぞ思う

甘木親教会  
初代教会長  
安武松太郎師神教

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市  
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL/FAX 0995-62-2895  
Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/《HPの「いっしん」はカラーで見れます》

教祖様140年／四神様130年／三代金光様60年／小倉教会布教138年／甘木親教会布教119年／  
加治木教会布教72年



ご祭典時のご霊前

奉奠後の玉串

加治木教会

## 秋季霊祭 仕えられる

九月二十三日の秋分の日、加治木教会では、秋季霊祭が仕えられました。秋季霊祭には、祭主として御用させていただきましたが、二十二日の朝から少し熱があり、数日前にお会いした方にコロナ感染症で陽性になられた方がありましたので、検査を受けましたと陽性でした。

祭詞(のり)の読みにくい漢字にルビを入れ、家内に急ぎよ祭主の御用をおかげ頂いてもらうことにしました。ご祭典のお供え物等の準備は、発症前に行っておりましたが、ご祭典が始まると床の中から「どうぞ神様・霊様方、祭詞の読み違い等ありませんようが、お祭りをお仕えます真心をお受け取り下さいまして、お心をお安め下さいませ」と御祈念させていただきました。緊張感の溢れる祭詞奏上の声を床の中から聞かせていただきながら祈らせていただく、思い出深い秋季霊祭となりました。

(教会長)

秋季霊祭… P1 「私の助かり」内門三朗氏 講話… P2~4  
青年のひろば… P4 バンド練習ほかお知らせ… P5~7 教会行事… P8

# 「私の助かり」

## 内門三朗氏 講話 ①

連合会信徒部会長（鹿児島教会）  
令和五年六月二十五日 教祖四十年忌  
中部・南薩地区合同地区集会 講話

▼幼少時代に▲  
昭和二十九年一月、内門正義・ヒモの第四子として生まれました。私共家族は鹿児島市内で生活していましたが、父の出身は川辺で、母は枕崎でした。

六人兄弟ですが、上三人が水子や早世して、生き残った三人兄弟の三番目として育ちました。

小学校三年の時、母が病死しました。兄達は学校を卒業すると家を出まして、父と二人暮らしになりました。目玉焼きくらいは作れるようになった中学三年の時に父が病死しました。

私は西鹿児島教会の近くの三育幼稚園に通っていました。



内門三朗氏

したが、その頃から西鹿児島教会の次男の、紀夫（のりお）さんが同級生でした。

小学校三年生・四年生の時も同じクラスで前からよく知っていたのでよく遊びに行っていました。

西鹿児島教会は、お広前の上がり框がまちが高くて、そこを上ってお広前で遊んでいました。

小学校三年生の時の印象なので、大きな体格の平山先生が来られて「なんことか！」と怒られたことがありました。しかし、それでもよく遊びに行きました。

小学校三年の時に、母が四十八才で癌で他界しました。その頃、一番上の兄が大学生で、二番目の兄は中学生で、私は小学校三年生でした。

その後、兄たちは就職し家を出て行きました。父は天文館の飲食店の経理をまかされていたので、いつも夜遅く帰り、朝は寝ていました。やもめでしたので、何を食べていたのかあまり記憶はありませんが、私も卵焼きくらいは作っていました。

甲突川べりに住んでいたこともあ

り、ウナギを捕って蒲焼きにして食べたこともありました。

そうした中に、中学校三年生の時に、父が脳溢血で六十二才で他界しました。中学校三年生で両親は共に亡くなってしまいました。



▼両親を亡くして▲

それから、従兄弟の所にお世話になって暮らすようになりました。

一月二十二日に告別式をしまして、一月二十五日に中学校に行きましたら、中学校の先生が卒業しての話を話され「市役所に、試験を受けて通ると、夜間高校に通いながら卒業するまで仕事ができる制度があるよ」と言ってくれました。

叔父や従兄弟に話し、了解を得て願書を出しまして、十五人受験しまして三人合格しました。

その制度は、市役所内で書類を運ぶ仕事で、各課の書類の集配や印刷などでした。私は印刷の方に回りまして四年間勤めました。昼間は仕事をし、夜は夜間高校に通い九時頃に学校が終わるということでした。

鹿児島西高校の夜間部には寮がありません。三食付きで弁当も持って行かせてもらいました。そうして、昭和四十八年の三月に高校を卒業しました。

その時へ大学に行きたいなと、思っていました。周囲の人たちに話しますと「四年間大学に行って卒業して、もう一回市役所を受けても通る確率は低いよな、大学はやめた方がいいんじゃないか」と言われて、進学をあきらめ、高校卒業と同時に市役所の別の課に配属されることになりました。

業して、もう一回市役所を受けても通る確率は低いよな、大学はやめた方がいいんじゃないか」と言われて、進学をあきらめ、高校卒業と同時に市役所の別の課に配属されることになりました。



上荒田教会

▼金光教との接点▲

そうして、そこで出逢ったのがうちの奥さんの礼子さんです。

礼子さんは江原家の四女で、一男四女の末っ子でした。種子島で生まれています。お母さんは福岡県久留米市の三井教会の娘さんで、お父さんは鹿児島教会の総代さんでした。

礼子さんは小児麻痺で足が悪いため、入来の方にある職業訓練校で和文タイプを一年間寮に入って習って、それから試験を受けて、昭和四十八年の四月に、私がいました職場(市役所)に入ってきました。そこから、大きく金光教との接点ができて行きました。

しかし、よく考えると、金光教との接点の第一番目は、小学生の頃に西鹿児島教会で縁がありました。

また、母が亡くなった後、この上荒田教会の近くの陸橋を渡った所に叔父が住んでいました。そこに預けられ、そこから電車を使って山下小学校まで遠隔地通学という通いで、小学校の帰りに西鹿児島駅で電車を降りて、駅前商店街を通り抜け、ちょっと折れますと上荒田教会の筋に入っていきます。

入るところの角に団子屋があります。そこで十円か十五円だったと思

いますが、母が亡くなって小学校四年生から六年生の頃、団子を買って帰ったことを覚えています。そして、この上荒田教会の前を通って帰っていました。

そういうことも、金光教との接点となったのではないかと思えます。へいろんな接点があったのかなあ」と思います。

小学校は山下小学校でしたので、鹿兒島教会の総代の小西家の、小西晴男さんの妹の小西郁子さんとは同級生でした。小西晴男さんは、小学校三年生・四年生・五年生の頃、懇意にしてくれまして、子分みたいな感じで、中央高校の前になんでも屋というお店がありまして、すぐ近く飴を買ってもらったりした記憶があります。

そういうことを考えますと、金光教との接点がすでにいくつもあったように思います。

今から思うと、接点というより鹿兒島教会に導かれるようにして、神様が蜘蛛の糸ではありませんが、たぐり寄せてくださったってあったのかなと思えてなりません。(つづく)

# 連合会主催 青年のひろば 開催される

昼間はまだまだ残暑のお恵みが厳しかった九月十六日(土)・十七日(日)、鹿兒島教会を会場に、連合会主催の「青年のひろば」が開催されました。講師に、都城教会の若先生、栗原隆治郎先生をお迎えし「神様が見えたか」「副題・祈りの中に生かされて」という講題でお話しくださいました。十六日(土)夕方から若者たちがほつぽつと集まりだし、午後六時から開会式が始まり、十二名の参加者が集いました。

講題の「神様が見えたか」という言葉は、隆治郎先生の祖父都城教会二代教会長先生が、旧制中学の時に初代であるお父様から頂かれたお言葉ではあるものの、隆治郎先生が大学生時代に交通事故に遭われた時などに思い起こされ、信心の大きな指針となっていることをお話し下さいました。

(講題の「神様が見えたか」について、教員が) でした。



栗原隆次郎先生

第2日は、南洲神社や西郷南洲顕彰館を散策し薩摩の先人たちを偲びました。



# バンド練習会

## 11月から！



少年少女全国大会「かがやけ大行進」で演奏のおかげをいただき、金光様に御礼・喜びの真を現わさせていただきましたしょう。  
また来年の秋は、甘木親教会 布教120年記念大祭です。健康と時間のお繰り合わせをいただいて、ともどもにおかげをこうむらせていただきますしょう！



少年少女全国大会の「かがやけ大行進」も、コロナがいちおう明けましたので、来年こそは、おかげいただきたく思います。  
しかし、神様のお繰り合わせをいただき、霊様方の願いをしっかりと受けとめ、信心を進めお役に立つ祈りをもっていかねば、できていくことではありません。

(練習時刻などは追って連絡いたします。) 金光教加治木教会

広前南側壁

シロアリ対策工事

(十月から)



三年前より、春先になると、お広前南側の壁(黒板の後ろ側)から、ハネアリ(シロアリの羽のついた成虫)が大量に、それも突然出没するようになりました。  
昨年と今年は、ちょうど月例祭などで参拝されている方がある時でし

たので、参拝の皆さんと一緒に掃除機を駆使して吸い取りました。  
しかし、三年前から現れるようになったハネアリは、だんだんと量が増えてきました。

今年の春は、三台の掃除機で吸い取っても間に合わず、外に這い出して飛んで行くハネアリも多く、ちょうど南の国から帰ってきたばかりの、たくさんツバメが教会建物の周辺で飛び回り、ハネアリをつかまえては食べる光景を眺めながら、ハネアリ大掃討となりました。

その時季に現れるハネアリが、どのような状態でお広前南側の壁(黒板の後ろ側)の中に潜んでいるのか、涼しくなってきた十月頃(月例祭にかからないウィークデー)から、壁板を剥いで調べることにしています。  
工事が少し大がかりになるかも知れませんが、

シロアリの巣が見つかり、あまりにも手に負えない場合は、専門の業者をお願いしますが、先ず壁板を取り除いてどのような状態であるか、調べてみることにしています。

その後、建設業関係者に尋ね、あ

る程度の工事と薬剤を使つての対策で済む場合は、続けて適切な方法で作業を致します。

十月下旬から、十一月までとなるかも知れませんが、お広前の南側三分の一ほどは、作業道具や材料などを搬入し、作業を進めることとなります。

お広前には、ブルーシートで仕切りを取り付け作業を進めることになっていますが、少々埃が舞ったり、作業音で騒がしくなることもあり、誠に申し訳なく感じます。ご理解くださいますようお願い申し上げます。

このあたりから  
ハネアリの  
大量の  
春、このあたりから  
大量のハネアリ  
が



ご霊神様のおまじ

十月

平地セイ之霊神	平成14	10	01
矢野サダ子大乃自之霊神	平成24	10	03
春山陽子之霊神	昭和56	10	06
中村正行大人之霊神	平成23	10	06
大木千鶴子之霊神	平成16	10	07
上田喜四郎之霊神	平成03	10	08
中野綾子之霊神	平成04	10	08
瀬戸淳一之霊神	平成23	10	10
庄村徳二之霊神	平成02	10	13
前田シヅ之霊神	平成26	10	13
有園敏雄之霊神	平成27	10	14
瀬戸秀雄之霊神	昭和50	10	14
荒木恒之霊神	令和01	10	16
前田照子之霊神	大正14	10	17
内村健之霊神	昭和58	10	17
中野満行之霊神	平成12	10	18
岡山健一之霊神	平成29	10	21
春山住晴之霊神	昭和47	10	19
矢野仁吉郎之霊神	昭和30	10	26
福元フサ子之霊神	平成15	10	29
市来政利之霊神	平成30	10	30



「先祖のご霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。」  
教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しております。

あしあと

加治木教会行事記録

9月

- 1 (金) 報徳月例祭 10時半
- 3 (日) 連女性のつどい 10時
- 9 (土) 清掃御用 10時
- 10 (日) 月例祭(お神楽) 併せ10時半
- 16 (土) 17 (日) 連青年のひろば
- 19 (火) TSC 小園教会手帳部報告
- 20 (水) 甘木親教会御用(教会長)
- 21 (木) 清掃御用 10時
- 22 (金) 月例祭(天地位) 共励会13時半
- 23 (祝) 秋季霊祭10時半
- 30 (土) 1 (日) 御本部御大祭参拝

少年少女全国大会に向けてのまごころ運動

- 折り鶴 七五三羽
  - 古切手 一〇八枚
  - 古テシカ 一枚
  - 鉛筆 一六本 集まりました。
- 「ご協力ありがとうございました。折り鶴は、わかば祭にお供えされ、広島・長崎の平和記念公園に贈られます。」

感詠 (教会長)

立ち上がるきつかけとなるみ教えは  
手元において日頃気づかず  
見上げればこれほどまでに美しき  
星空なりや涼しさも増し  
寝苦しくないとはい言えず日中は  
三十度越え初秋の半ば  
夜中覚め窓締めにくく肌寒さ  
夏もようやく過ぎてゆくかと  
心配はせぬことなりと我に言い  
心を神に向けて祈りぬ  
わが心そのなかにすむ鬼なるか  
後悔・悔悟・自責迫るは  
ひとしおに祈りを込めて行くならば  
打ち寄せ迫る心配みかけに



十一月五日(日)午前十一時

加治木教会 前日清掃御用

# 生神金光大神御大祭 奉仕

※祭典後、教話。

人吉教会長

講師 安武 光太郎 先生

※お直会はお持ち帰ります。

十月十五日〜十月三十日

# 御大祭奉迎 信行期間

ご祈念・研修 午前五時十五分

午前十時

十一月二十二日(金)午後一時半

月例祭に併せて

# 立教記念祭 並びに

# 新穀感謝祭 奉仕

※祭典後、教話。

※お直会はお持ち帰ります。

## 教会行事

### 10月

- 1(日) 御本部御大祭参拝
- 3(火) 清掃御用 10時
- 4(水) ●報徳月例祭 10時半
- 併せて 教祖御生誕祭
- 9(祝・月) 清掃御用 10時
- 10(火) ●月例祭(生神金光大神様) 併せて 10時半
- 21(土) 清掃御用 10時
- 22(日) ●月例祭(天地金乃神様) 共励会 13時半
- 23(月) 研修会(教会長・教務師会)
- 29(日) 多良木教会御大祭 11時
- 31(火) 清掃御用 10時

### 《御大祭》(予定)

- ☆10月29日(日) 11時 多良木教会 生神金光大神御大祭
- ☆11月18日(土) 12時 大口教会 生神金光大神御大祭
- ☆11月19日(日) 11時 鹿兒島教会 生神金光大神御大祭
- ☆11月26日(日) 11時 人吉教会 生神金光大神御大祭
- ☆12月3日(日) 甘木親教会 生神金光大神御大祭

### 11月

- 1(水) ●報徳月例祭 10時半
- 4(土) 清掃御用 10時
- 5(日) 加治木教会 御大祭 11時
- 9(木) 清掃御用 10時
- 10(金) ●月例祭(生神金光大神様) 10時半
- 18(土) 大口教会 御大祭 12時
- 19(日) 鹿兒島教会 御大祭 11時
- 20(月) 研修会(教会長・西本)
- 21(火) 清掃御用 10時
- 22(水) ●月例祭(天地金乃神様) 共励会 13時半
- 併せて 立教記念祭・新穀感謝祭
- 24(金) 連合会執行部会(鹿兒島) 10時半
- 26(日) 人吉教会御大祭 11時
- 30(木) 清掃御用 10時

## バンド練習!

来年は、甘木親教会の布教120年記念大祭です。四年前の記念祭では「よろこびの集い」で「甘木布教賛歌」を演奏させていただきました。十一月から練習を開始しましょう!